

平成30年第19回（臨時）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成30年12月10日午後7時28分

場所

高砂市役所西庁舎2階会議室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、瀧野学校教育室長、都筑教育推進室教育総務課長
赤松学校教育室学校教育課長

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 夏季休業日の短縮について
- 2 平成31年度教育関係予算要望事項について

報告事項

- 1 全国学力学習状況調査の結果について

議 事 協議事項1 夏季休業日の短縮について

○事務局 (協議事項1について説明)

○教育長 説明が終わりました。何かご質問はありますか。

○委員A 基本的にはこの案で私もいいと思います。空調も入りますし、当然夏休みが短縮する方向に変わるとは思いますが、その中で3つほど質問させてください。

1つ目、2学期の始業式は8月25日なのか、それとも9月に入ってからなのかという点です。近隣も8月中に2学期を開始するところが結構あるのですが、始業式の扱いについては8月末よりも9月に入ってからというところが多いように聞いておりますので、当市はどうされるのかということが1点と、2つ目は、8月25日からの5日間は丸々1日授業なのか、それとも、体育祭の練習等を含めて、何日かは午前中実施のときもあるのか、その辺はどうなっているのかということと、あともう1点は、中体連の全国大会が8月24、25、曜日の関係であったりすると思うんです。その辺のことはどのようにお考えになっているのかという3つ教えてください。

○事務局 基本的に8月25日を始業式と考えまして、2学期のスタートをさせていただきたいと思っております。それに伴いまして、夏休みの最終週、今までの5日間ですね。そこの短縮する部分につきましては、始業式の日は当然式典の日ということで、連絡とか配布物等を渡したり、回収するものを回収します。その次の日につきましても、今現在のところ、4時間の授業と考えています。その後の3日間は、1日の方向で考えていきたいというところで現場のほうに説明させていただいています。そうなりますと、今度は給食のことが出てきます。中学校におきましては、まだ来年度はこの時期の給食は、高砂中以外は開始されておられませんけれども、今現在、何とか給食献立日にできないかどうかということで、できるだけ前向きな方向で検討のほうは入っておりますが、結論は出ておりません。基本的に、残りの3日間につきましては、5時間ないし6時間の授業の方向で考えてございます。中体連の日程については、中学校の校長に確認しましたところ、この期間中はないと聞いておりますので、25日からということです。もしも25、26日が土日となった場合も、中体連の大会は休みの日が多いということなので、そこで何とかできるだろうと聞いております。

○委員A もう1点あるのですけれども、25日に始業式が始まって、翌日は半日、あとの曜日については1日ということは今調整中というお話がありましたが、現場からの反応はどうなっていますか。

○教育長 校長先生方にはお話を2回ほどさせていただいて、現場の先生方とか具体的なことまでは、校長先生がお話しされて、現場の声を聞いたところもあるかもし

れませんが、直接教育委員会が現場の声を聞いていないので、ご存じない先生方もいるかもしれません。

○委員B 幼稚園のほうは、これは従来どおりなんですか。

○事務局 はい、従来通りです。あと、8月の特にこのあたりで、休暇をとられている教職員が非常に多いです。今考えておりますのは、ずっと研修を入れていた部分で、特に8月の頭から、教職員全体研修までのおよそ2週間、教育委員会の動員がかかるような指定研修については、精査はしていこうと学校教育と打ち合わせさせていただいております。

○教育長 よろしいでしょうか。先日の連合PTAの常任理事会がありまして、そこでも保護者の方のご意見も聞かせていただきました。その中で出たのは、保護者としてもありがたい。夏休み、長い間、子供がだらけてしまうのもありますし、先生方もゆとりをもって指導できるんじゃないかという意見がありました。PTAの連合の会長さんも、単位PTAでも同じような意見だと思いますよということでした。また、宿題の量が同じだったらちょっと子供がかわいそうだなということなので、その辺を対策するようなことは聞いています。あと何か、ご質問とかご意見はございますか。

○委員C これは5日間ですけれども、具体的にはどういうことを主に勉強、授業時間として使うのかというのが、具体的にありましたら教えてください。

○事務局 従来9月に始業式が始まって1週間という同じ扱いで学校では授業時間等で使っていただくと考えております。

○委員C 従来の時間割に沿ったような形ということですね。わかりました。

○委員D 第一歩を踏み込んでくれたことを非常にうれしく思います。先生方に1週間、実質5日間の授業日数を増やしたことが何のためかということをおわかっていただいたら、やっぱりPTAの方々は、保護者は多分、すごく喜んでくれていると思う、そういう意見もあったと思うので。

その中で、夏休みの全校登校日の変更はあるのですか。やはり子供は短くなったことが嫌だなという気はあると思うので、全校登校日もどのような形で、どのように変えるのか、いろいろ試行錯誤しながらの中で行ってほしいなと思います。

○事務局 全校登校日につきましては、委員がおっしゃるように学校現場とも相談していかなければいけないとこだと思っております。現状は7月に学年の登校日をしているところが多いと。それから全校登校日については、8月の末ぐらいで1回、事前に宿題等を集めるということでやっておりますので、始業式が8月25日になることで、今までやっておりました8月末の全校日は始業式がここになるということで解決できるのではないかなと考えております。いずれにせよ、これも校長会とも相談して決めてまいりたいと考えております。

○教育長 ほかに何かご質問とかはございませんか。

先生方、それから子供たちにもしっかりと説明をして理解していただくということも忘れないようにしていきながらの実施をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。まだ、全員の先生方のところまでは周知できておりません部分と、PTAの方も、理事の方ですので、年が明けましたら、PTAの研修会があります。その場で挨拶の中でお示ししたり、あと、広報もまた考えて実施していきたいとは考えておりますのでよろしく願いいたします。

協議事項の2番の平成31年度教育関係予算要望事項について、お願いします。

議 事 協議事項2 平成31年度教育関係予算要望事項について

○事務局 (協議事項2について説明)

○教育長 説明が終わりました。前年に比べて、校舎の設備、施設整備が終わって、学力に関することも入れさせていただいたという形です。

何かご質問、ご意見。それ以外に、お気づきの点があっても、なんでも言っていただければ。

○委員A 前回言うておくべきだったかと、自分も反省しているんですけど、予算にかかわることなので、また先で考えていただくということでちょっとお伝えしたいと思うのですが、勤務時間を短縮するということで、すごく効果的なのが、音声ガイダンス、留守番電話があります。予算的にはそれほど大きな額ではなくて、非常に効果的だということを見たり読んだりしました。緊急を要するようなことだったら、今の時代だったら、携帯電話に入っていくでしょうし、音声ガイダンスにしても、支障はほとんどないように聞いていますので、これは勤務時間の短縮に非常に効果的なことだと思うのです。

○教育長 留守番電話の設置についての委員Aさんからのご提案がありましたけど、どういう形でのものを導入するかとか、現場の声も聞きながら詰めていきたいと思っておりますので、今回の31年度の要望はちょっと除いていただいて、改めてその辺の調査・研究をさせていただくということでご理解ください。よろしく願いします。

○委員D プログラミング教育のソフトに関して、緊急を要すると言われていませんでしたか。教育委員会の中で、それが非常に遅れているから、絶対早急に要るんだという要望があったと思うんですけど、それをここへ入れなくていいのですか。

○事務局 ICTの活用等についても課題だと思っています。ご意見をいただいて、入れる方向で考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○委員D 今回のこの要望書の中に具体的にそういうのを要望しないと、また逸れると思っております。要望書があれば市長との面談の際に積極的に言いますので、しっかり書いておかないと、来年また遅れてしまいます。他市に比べて遅れているとい

う話を聞いていますし、ここへ追加してもらって、緊急にソフトを購入しなきゃならないことだと思うんですけど。

○事務局　ご指摘いただきありがとうございます。ICT教育については、当然やっていかなければいけないということでございます。総合教育会議においてもご議論いただいたところでございますので、プログラミング教育のソフトに関しましては、緊急を要するということで1番のほうに入れさせていただき、その他、タブレット等の機器の整備に関しましては、大きな予算のかかるところから、2番の重点の事業、おおむね3年から5年の中に入れていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○委員A　これまでも何度か取り上げた話題ではあるんですけども、部活動指導員とか介助員、スクールアシスタント等、そういう人的なマンパワーといいますか、そういう人の補充はすごく大事だと思うのですが、この中では、ちょっとそれが見受けられないのですね。どこかに入る余地とかはありますか。

○事務局　予算を増員の方向で要求しているところです。ここには記載はしていませんが、強い要望がありますので、それについても来年度に向けて改めて記入させていただきたいと思っております。

○教育長　指摘をいただいて、補充学習等の推進学習の拡充のところ、時間数がよくわからないので、そこをつけ足しまして分かり易くお示しをして、修正を加えていきたいと思っております。介助員とスクールアシスタントについてもお願いしたいという思いもございますので、整理させていただきます。ほかは何かございませつか。また27日に向けて修正したものを修正ができた時点で委員の皆様それぞれ見ていただいて、またそのときに加えてご意見がありましたらお聞かせください。そしたら次に行かせていただきます。

報告事項の1番、全国学力状況調査の結果について説明をお願いします。

議 事　報告事項1　全国学力状況調査の結果について

○事務局　（報告事項1について説明）

○教育長　何かご質問はございますか。

○委員C　かなりの改善が見られていると理解しているんですけども、やはり先生の1年間の姿勢が大分変わったということがこれに反映しているのかというところが知りたいのですが、どう思われるでしょうか。

○事務局　小中一貫に取り組む中で、特にグループで話し合いをするであるとか発表する機会を増やすということは中学校でもやっていこうということで、昨年度から計画して、4月から取り組んでおります。小中での合同の授業研究もやっている中で、特に中学校の先生はその必要性を感じて、それが実際の授業に結びつ

いているのではと考えます。先生の意識が変わってきているところだと考えています。

○委員C 授業の最後に学習内容を振り返る活動が増加ということで、中学校はまだ十分改善されていないと思うのですが、振り返りというのはやはり授業をやって、それを再確認させるという機会をつくる必要があります。もちろん、授業の時間数の制限があるのかもしれませんが、一番効果的なのは、やはり小テストというのが効果的かなと思っていて、授業が終わった後、短時間でいいですから、もう1回再確認させる小テストをやって、その正答をもう1度先生のほうで説明するというようなことが出来たらと思います。テレビだとかビデオだとかのことにしても、中学校が改善されていますし、復習に関しても非常にいいので、今回特に部活動が短くなると家庭学習の時間が増えるし、これをうまく正のスパイラルにして、どんどん成績を向上させるいいチャンスだと思いますのでよろしくお願いします。

○事務局 確かに、振り返りについては、時間的な制約等もあり、特に中学校でなかなかうまくいっていないのかなと考えておりますが、いろんな方法があると思いますので、学力向上会議や各学校での研究で引き続き改善をと考えています。家庭での学習については、部活の活動時間等についても指針で出させていただいて、学校のほうも意識してやっているというところですので、空いた時間を有効に使えるようにしていきたいと考えます。

○委員B 特に中学校にいろいろ改善が見られてうれしいことだと私も思いました。中学校はやはり受験を見据えながらなので、難しいとは思いますが、小学校でやっているような自分の意見を言う、それを相手に理解させる、そしてまとめていくというやり方に切りかえる場面があったんだなと思ってうれしいと思いましたが、やはり先生方に見てもらったら、違う形の授業の進め方というのは、やはり急ではできない難しさはあると思います。時間がなくて、最後のまとめができないということは十分にあり得ると思いますので、先生方がだんだんそれになれてこられたら、最後にまとめる時間というのはできてくると、私は信じています。それで、家庭学習もこういう変化があるということは、家庭のほうも少し意識が変わったのかなというのでうれしいことです。ただ、「友達と会うのは楽しいと思いますか」というところで、楽しいと思う子が減っているというのが少し気になります。幼い子供たちですので、意見を交わし合うということは難しい。意見を交わし合うということと、人間関係とが混乱することがあるのではないかなと思います。意見が合わなかった場合に、それを引きずってしまうとか。その辺の先生の配慮も必要かなというのを少し感じました。

○委員D 「友達と会うのは楽しいと思いますか」というのが減っているということが私もすごく気になっていて、話し合いをする方式は先生の誘導の仕方とか話の進め方によって、やっぱり子供がプレッシャーに感じることもあるし、ものすご

く嫌に感じる生徒もいると思います。先生はそんなことは当然わかっているのだと思いますが、授業のあり方を変えていくと、それについていけない子が出てくるという、1つの問題点が浮き出てきているので、これに対する取り組みをきちんとしないといけない。緘黙症みたいなものもあるし、必ずしも皆が皆言えないし、意見を押しつけていって、つぶしにかかる子も、幾ら言ったって出てきます。昔のことと比べると話し合ってきているけど、やはりそれをよしとしない子もいるんだということ。それに関しては、それをすくい上げてしていかないと駄目だと思います。

それと、授業のあり方に関して、皆で議論すると、教科書的なことが全て網羅していけるかといったら全部は終わらないかと思っています。そうすると家庭学習を行う際に、授業の復習をするとなったとき、自分で勉強しなきゃならない部分がたくさん出てくるんですよ。自分で勉強しなきゃならない範囲が広がると、自分で勉強できない子の学力がやはり落ちてきます。あとのフォローをどうするかといったら、補充授業でしなきゃならないということになってくる。こんなふうにするのですよということをきちんと事細かに教えてあげる、そういうバックアップ体制をつくっておかないと、授業改善も走ってしまったら、成績に逆につながらないのではないかなという漠然とした考えがあります。だから、最後のところなんか見ていたら、よかった、よかったと言っているけど、会うのが楽しくないなということになってきたりすると、やっぱりこれで、またそこでこの子らは勉強しなくなるだろうなど。学力向上のためには仕方ない部分もありますけど、実際にはそういう子が出てきたら、取り組みの仕方を違う姿勢から考えていかないといけないんじゃないかなと、そういう懸念を持っています。嫌がっている、楽しくないと思出した子に対してのサポート体制をつくっておかないといけないんじゃないかなと思います。

○事務局 委員がおっしゃるように、議論中の人間関係であるとか、その後の日常生活における子供たちの人間関係というところには、フォローをしっかりする必要があると考えています。今、話し合いが活発になるよう改善されてきているんですけども、やはりその話し合いであるとか学習活動の質もこれから考えていく必要があるのではないかと考えております。

○委員A このデータを分析して、今後の取り組みというのは一番大事なポイントなのですけれども、その中の文言で「学校での取組」「家庭への啓発」とあります。大事なことからこそ、ずっと何年も同じ文言にはなっていると理解しておりますが、違う切り口での考え方も必要であると思います。つい先日、教育委員会の研修会で私が聞いたお話で非常によくわかって効果的だなと思ったことをお伝えするのですが、その大学の先生がおっしゃったのは、学力向上は具体的にここに書いているようなことももちろん大事だけれども、それよりももう1つ前に大事なことで、生徒が自分に対する信頼感を高める、これが一

番効果的で継続的であり、今ここに目を向けましょうという、簡単に言えばそういうお話でした。その具体的な方法として、まず1つのことは、周りの人から認められているという実感を持てる。それから、人のことを大切にしておく習慣を身につける。もう1つは、保護者からの愛情が大事と。この3つを言われました。これはほんとうに当たり前のことで、その気になれば、全市を挙げて共通的にできることで、いろんなことにいい効果、波及が認められる、見込められるものですよね。周りの人から認められている。これは、授業中以外の休み時間とか放課後にちょっと声かけをする。ちょっとした子供たちの変化を見逃さず、声かけをする。そういうさりげないことだとかが非常に効果的です。人のことを大切にしておくというのは、これは学習技術に入ってくると思うのですが、先ほどの話と全く一緒に、対話的な授業をしていながらも、話せない子にも目を配ってあげるということになってくるかと思えますし、当市はやっぱり家庭学習という問題を抱えています、家庭でも勉強しなさいという口うるさく言う保護者ではなくて、愛情がない親はいないと思うんですが、でも、意識して愛情を降り注いでいるのがわかるような、意識してそれをしてください、みたいなアピールをしていくと。そんなことを学力向上会議等で提示していただいて、来年に向けてそういうことを考えていただけたら、また違ったところからの切り口で、効果が見込めるのではないかなと思ったので、お話しさせていただきました。

○事務局 委員がおっしゃられる、周囲から認められるというのは一番大事なことだと思いますし、人を大切にすることともそうだと思います。家庭での保護者からの愛情についても、ほんとうに大事なところだと思います。全国学力・学習状況調査の結果としてお配りしておりますので、調査内容の質問や、来年度の分析等の研究をして、こういう項目についても、啓発になるような掲載ができたかと考えています。そこについては、来年度の結果を見ながら、ご意見いただいたことも取り入れながら分析をしていきたいと考えています。

○教育長 よろしいでしょうか。学校に伝えていきたいご意見もたくさんございました。向上会議または学校の先生方に伝えていきたいと思えます。リーフレットにつきましては、この形でつくらせていただいて、これを指導に生かす、または家庭の啓発に生かすという形で効果的に活用したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。特になければ、きょうはこれで終わりたいと思えます。よろしいでしょうか。教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

平成30年12月10日 午後9時36分 教育長会議の閉会を宣告
